



地歩創生で連携を

西日本シティ銀行と地方創生に関する包括協定を結びました

6月16日、市と西日本シティ銀行が「地方創生に関する包括協定」を結びました。この協定は、地方創生を進める市が、民間企業のノウハウを取り入れようと締結されたものです。そして、地方創生総合戦略の計画づくりや、その実行にも活用が見込まれています。

また、市町村と金融機関の連携は県内で初の試みで、今後の展開が市の内外からも注目されます。市長は、「市の豊かな自然を生かし、新たな魅力を生み出したい」と語り、これからの市の未来を担う計画に期待を寄せていました。



▲協定書を手にする西日本シティ銀行磯山副頭取(左)と小山市長

災害に備えて

水防訓練が開催されました



▲水の浸入を防ぐ土のう積み上げの訓練

6月14日、日蒔野1丁目にある集いの駅で水防訓練が開催されました。約170人の消防団員と宗像消防署員が協力し、今後発生する可能性のある豪雨災害などを想定した、備えの確認を行いました。

訓練では、土のうの作成や積み上げ、崖崩れ斜面へのシート張りを、消防署員の指導を受けながら、消防団員が手際よく行っていました。水防訓練を見学していた、日蒔野地区に住む安部さんは、「どのような災害への備えがあるのか知るいい機会となりました」と語っていました。

蛍を身近に祭をたのしむ

ほたるまつりが開催されました



▲蛍の光を待ち構える来場者

6月6日、7日、ほたるの里(本木川自然公園)でほたるまつりが開催されました。豊かな自然が残るほたるの里には、毎年多くの蛍を見ることが出来ます。当日は音楽のステージや露店が出店され、たくさんの方がさわやかな自然の中で行われたお祭りを楽しんでいました。

辺りがうす暗くなった頃には、水辺の近くにたくさんの方が集まり、蛍の光がとまり始めるのを待ちます。日が落ちる間際には、ちらほらと蛍の優しい緑の光が見え始め、光る度に大きな歓声が上がっていました。

お米を作るのは大変

田植え体験がありました

6月13日、西郷川花園横の水田で田植え体験がありました。子どもから大人まで、約200人が参加し、機械を使わない昔ながらの手植えで水田に稲を植えていきました。「水を張った水田は、いぼって(ぬかるみに足を取られる)歩くのが難しく、思った以上に体力を使います」と参加者の一人は語り、昔ながらの田植えの苦労も体験していました。

田植えの後には、田植えだごや市内でとれた甘いスイカが振る舞われ、参加者は体験後のおいしいひとときも楽しんでいました。



▲はじめての体験に「楽しい」と笑顔を見せる城野大樹くん(市中央)



▲大会での1位を小山市長に報告



▲先生の指導を受け型を決める小船さん

手づくりの美味しさを堪能

畦町でそば打ち体験

6月14日、畦町公民館でそば打ち体験会が行われました。はじめに、講師の「石挽き手打ち蕎麦木曾路」(福岡市中央区)の宮崎猛さんが、そば打ちを披露しました。つづいて参加者も畦町で昨年栽培されたそば粉を使い、実際にそば打ちに挑戦しました。生地をこねたり広げたり、参加者どうし協力し楽しみながら、そばを完成させました。

それぞれが打ったそばを試食する機会もあり、久山町から参加した中野隆之さんは、「やっぱりプロの味は違いますね」と話していました。また、畦町の櫻井さんは、「家でもそばを打ったことがあります。講師に習ってとても参考になりました。今度は家族と一緒にぜひそばを打ちたい」と感想を語っていました。



▲のどごしの良いおいしいそばができました



▲薄く均等に生地を伸ばします



▲講師に教わりながらそばを切ります

地道な活動が実を結びました

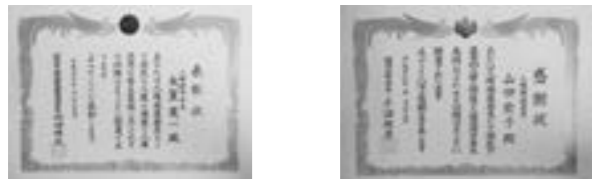
人権擁護委員が表彰されました

5月29日に行われた、県人権擁護委員連合会総会で、市の人権擁護委員の山田宏子さんと大賀英一さんの二人に、それぞれ福岡県法務局長感謝状と福岡県人権擁護委員連合会長表彰が贈られました。二人は長年にわたって、人の心の温かさや優しさに寄り添いながら、地域に密着した活動を続けてきました。

「人権相談で相談員を担うなど、地道な活動を続けてきました」と二人はこれまで積み重ねを振り返り、表彰されるまでの道のりを語ってくれました。



表彰された人権擁護委員の大賀さん(左)と山田さん(右)



男声合唱の力強い歌声

メンネルコール定期演奏会

6月14日、市文化会館カメリアホールで、第5回メンネルコール福津定期演奏会が開催されました。前回の演奏会から3年ぶりとなった今回も、会場には沢山の人が訪れ、立ち見も出るほどでした。

ステージでは、28歳から85歳まで40人を超える男性が、満員の客席を前に歌声を披露しました。それぞれのパートが合わさり、しっとりとした曲から元気の良いアップテンポの曲まで、心を込めた歌声が響きました。一曲が終わるたびに会場は大きな拍手で溢れ、カメリアホールは活気に包まれていました。



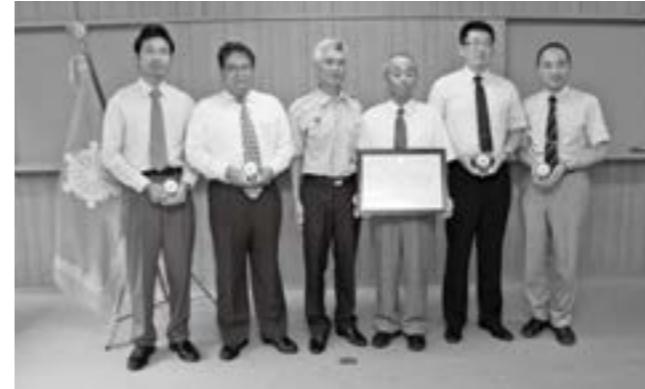
▲元気な曲では体を動かして歌います

素早い消火活動で被害を最小限に

初期消火協力表彰が贈られました

6月16日福間病院自衛消防隊員の5人が初期消火協力表彰を受けました。これは、5月13日に花見が浜で発生した建物火災で、自衛消防隊員が初期消火活動を行い、近くの建物への延焼を防いだことへの表彰です。

火災現場に駆け付けた自衛消防隊員の永島さんは、「消さなくては」ととっさに考え、隊長の高田さんの指揮のもと、消火活動を行ったそうです。消防長も「自助共助の精神を持った素晴らしい行動で、被害の拡大に貢献いただきました」と勇気ある行動を称えていました。



▲表彰状と盾を手にする福間病院自衛消防隊員の皆さん

「昔ながら」に触れました

ふっくるで機織り体験



▲裂織りで花瓶敷きを織る花田さん

6月15日、福間駅にある観光情報ステーション「ふっくる」で行われている、機織り体験を訪れました。もとは久留米紆を織っていたもので、使われなくなったところをきれいに直したそうです。体験では、「彩り工房」の田辺さんに教えてもらいながら、裂いた布を織り込む「裂織り」という手法で花瓶敷きを作っていました。

体験に参加した、花見が丘の花田さんは「手づくりの温かさがありますね」と語り、はじめての体験ながら、手際よく折り込んでいました。

市民広報 ボランティア

JR九州ウォーキング



6月6日、JR九州ウォーキングが開催されました。福間駅を出発地として、約1600人が参加し、宮地嶽神社の菖蒲まつりや、津屋崎千軒の歴史ある街並みの散策をしました。当日は晴天に恵まれ、11kmのコースを約3時間半かけて歩き、心地よい汗をかきながら、有意義な時間を過ごすことができました。(写真は波折神社)

【有吉敏高】

ラブアースクリーンアップ2015



天候にも恵まれた5月24日、ラブアースクリーンアップ2015が開催されました。会場の一つの福間海岸では、去年を上回る人数が参加しました。すがすがしい空気の中、子どもも犬もお手伝いしていました。

年々海岸のごみも少なくなり、マナーも行き届くようになってきているようです。福津の海岸を誇りにしたいものです。

【徳永孝志】

宮地嶽神社のしょうぶ菖蒲



6月1日、昨年入会した大和2区の老人会である大寿会で、宮地嶽神社の一日参りに参加しました。大寿会には足腰の弱りを防ぐことと、会員の皆さんとの交流を図りたいと考え、5月から夫婦で参加しています。

宮地嶽神社に参ると、新緑と菖蒲に迎えられ、会員の皆さんの足取りも軽快で、ほほ笑みながら会話が弾みました。

【山本武利】

創作紙版画展



6月4日、津屋崎千軒なごみで「創作紙版画展・LABK²(ラボケイツー)主催」が開かれました。紙版画は手軽ながらも、この創作紙版画展の作品ではオリジナルの発想と彩色でできた群青や朱が温かさをおび、見る人を楽しませてくれます。

また、主宰の菊池さんは「作品作りには感動の積み重ねが大切です」と紙版画の世界の奥深さを語っていました。

【櫻井紀子】